

私立短期大学図書館協議会

会報

Bulletin of Junior College Library Association

発行者：安部 豊 巳

発行所：私立短期大学図書館協議会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-22-1

文化女子大学短期大学図書館内

電話：03-3299-2195

1999. 2 No. 44

協議会の組織変わるか
緊急臨時全国理事会開催報告

期 日 1998.9.25 午後2.00～

場 所 文化女子大学図書館閲覧室

出 席 関東・甲信越地区理事

東海・北陸地区理事

近畿地区理事

九州地区理事

本部会長・各理事

欠 席 北海道地区理事

東北地区理事

中・四国地区理事

議 題 会長の推薦及び事務局分担に関する申合せ案

- 1 平成11年～12年度の会長は、関東甲信越地区協議会より推薦するものとする。
- 2 平成11年度～12年度の事務局は、関東甲信越地区協議会に置き、庶務関係及び会計関係業務を担当する。
- 3 会報関係、研修会関係及び紀要関係業務は、他地区協議会が2年毎に交替で担当する。その具体的方法については、全国理事会で協議する。
- 4 平成13年以降の会長の推薦に関しては、全国理事会で別途協議する。

この問題は、去る5月全国理事会で協議されたが、結論せず、本部で「会長の推薦及び事務局分担に関する申合せ案」を各地区で検討され、その意見を持ち寄り今回改めて協議するということで、招集した。欠席理事には委任状を取り、平井理事の進行で進められ、まづ安部会長が、今回の開催趣旨の説明のあと、吉岡顧問より、詳

細な補足説明がなされ、質問意見が交わされ、1. 2の件は了承され、関東甲信越地区では、年内にこの件を協議されると思われる。

3について、地区出席理事から申し出により、会報関係は、九州地区協議会が担当する。研修会関係は近畿地区協議会が担当する。紀要関係は東海・北陸地区協議会が担当する。

会長の推薦及び事務局分担に関する申合せ

平成10年9月25日

私立短期大学図書館協議会
臨時全国理事会

1 平成11年～12年度の会長は、関東甲信越地区協議会より推薦するものとする。

2 平成11年度～12年度の事務局は、関東甲信越地区協議会に置き、庶務関係及び会計関係業務を担当する。

3 会報関係、研修会関係及び紀要関係業務は、他地区協議会が2年毎に交替で担当する。

平成11～12年度については下記の地区で担当する

会 報 関 係 九州地区協議会

研 修 会 関 係 近畿地区協議会

紀 要 関 係 東海・北陸地区協議会

4 平成13年以降の会長の推薦及び庶務・会計業務に関しては、平成12年度理事会で協議する。

平成10年度短期大学図書館全国研修会報告

テーマ

参考業務と書誌 …… 講演 「学術情報センターの情報提供サービス」

国際関係：日本との関係を中心として

日本文学：近代文学を中心に

日 時 平成10年11月19日(木)～20日(金)

日販本社議室（新お茶の水ビル）

テーマ 参考業務と書誌 国際関係／日本文学

講 師 加徳健三氏（学術情報センター事業データベース課）

樋口恵子氏（国際文化会館図書室）

林 利久氏（國學院大學図書館）

参加者 72名

主 催 私立短期大学図書館協議会

第1日目、安部会長の開会挨拶とオリエンテーションの後、加徳健三氏の講演「学術情報センターの情報提供サービス」、講義として樋口恵子氏の「国際関係－日本との関係を中心として」、林 利久氏の「近代文学を中心に」があり、要旨は下記の通り。なお、各講義の詳しい内容は「短期大学図書館研究19号」に掲載される。2日目、参加者は8グループに分かれて、書誌を使って与えられた課題を、解決すべく、演習に取り組んだ。最後に、グループごとに解答を発表し、講師の先生方より評価、指導を受けた。また、例年のように懇親会が5時30分より、同ビル21階の「銀座アスター」で開かれ、講師の先生方や図書館の仲間たちとなごやかに歓談楽しいひとときをもった。

◇学術情報センターの情報提供サービス

加徳健三氏

1. 学術情報センターとは

学術情報の収集、整理及び提供並びに学術情報システムに関する総合的な研究及び開発の大学共同機関として昭和62年設置

2. オンライン情報検索サービス

NACSIS-CAT……目録所在データベース 短大、高専も加入出来るようになった。一次情報の中から必要とする情報を入手するためには二次情報により検索する事が効果的である。学術研究情報の流通促進を図るためのデータベースの作成が課題。

NACSIS-IR……書誌データデータベースの作成、導入、受入そして国内外の研究者に提供 他の機関との役割分担もしている。加えて新情報検索システムとしてオープンシステム化、インターネットへの対応、なども開発、web対応の検索インターフェイス、高度な検索機能、多様な出力機能の追加などの検索サービスの特徴を持つ。

3. 電子図書館サービス……電子的資料の収集・作成とネットワークを介しての提供

資料電子化の方式（文字入力と画像入力）特徴として学協会発行の学術雑誌を対象としてページの画像データベースを中核、インターネット上でサービス。平成3年度から研究開発平成7年から試行サービス平成9年4月からは本格的サービスを始めたが、平成11年1月からは、有料となる。

◇国際関係－日本との関係を中心として－

樋口恵子氏

国際文化関係に関するレファレンス資料は(1)国と国と間の inter-relation の研究(2)ある一定の地域、例えばアジア研究などの地理、経済、政治社会、文化などの全体像の研究(3)個別の国、地域、民族などそれぞれの独立単位の言語、概念、信仰、習慣、などの比較研究、文化人類学なども含まれる。国際関係、地域研究、比較文化、主題研究として資料をそろえる。書誌としては、かなり広い分野にわたるが使いやすい書誌を探す。情報源としてはインターネットを利用すると各国政府、観光、新聞などの情報が得られる。

◇日本文学について－近代文学を中心に－

林 利久氏

日本文学のなかで近代文学といっても明治時代の作品は古典に入ってきている。文献書誌をそろえるといっても大変なので多くを期待せず雑誌などの別冊、付録などをそろえるのも良い。メディアを使うことも必要。レファレンス対応として－自分の図書館でどの部門が弱いかをよく知り、どのように応えられるか、図書館の蔵書を描きなをみればどのように出来るか、だめなときは他の図書館を利用出来る方法を考える。インターネット利用も1つの方法でNACSIS-CATなどのインターネット上のことは押し得るが探すのは学生というたいおうをすればよい。



全国研修会アンケート集計結果

日 時 平成10年11月20日 (金)

回答枚数 53枚 (参加者62名・回答率85%)

- あなたの図書館はどの地区に属しますか
北海道地区……4名 東北地区……3名
関東甲信越地区……23名 東海・北陸地区……7名
近畿地区……8名 中国四国地区……3名
九州地区……5名
- 図書館での経験年数
1年未満……2名 1～5年……14名 6～10年……11名
16～20年……7名 21年以上……5名 無回答……2名
- あなたの当研修会参加回数
初めて……25名 2回目……13名 3回目……10名
4回目……1名 5回目以上……4名
- 今回の研修会テーマ
満足……30名 やや満足……16名 普通……6名
やや不満 不満足 その他 無回答1名
- 講義について
満足……27名 やや満足……20名 普通……5名
やや不満……1名 不満足 その他
- 演習について
満足……22名 やや満足……12名 普通……8名
やや不満……15名 不満足 その他……1名
無回答……1名
時間不足であったことの指摘がかなりありました。
- 演習時間について
満足……8名 やや満足……12名 普通……15名
やや不満……17名 不満足 その他
- 今後の研修テーマはどのようなものを希望しますか
社会福祉 保育・児童 数学(統計資料)
多分野にわたる学術的なテーマ CD・ROM関係の選書
方法 電子図書館利用方法・生涯教育と図書館 時代考
証 日本文学は再度希望
- 研修の運営方法についてお気づきのことがありま
たらお書きください。
パソコンやインターネットを使った文献情報もあったの
で演習形式にも機器を使ったり説明をしてほしい。
少ない問題を時間をかけて解く。
もう少し資料をみる時間がほしい。
レファレンス資料をみなおしたい。
2日目の開始時間を30分早めてわ。

問題が多すぎる。

10. その他

今回出席して高額の資料をみるだけでなく実際に利用し演習で使用、体験、ここで学んだことを仕事に生かしたい。

研修会に参加して ————— 山田かおり

私は初めてこの研修会に参加させていただいたのですが、その感想を一言で言うと、とても“楽しかった”です。日頃は日常の業務を繰り返すことで終わってしまいがちでしたが、研修会に参加して、とても刺激になり、自分の仕事を再確認する良い機会でした。

今回の講演、講義では、データベースやインターネットの重要性を強調されていました。コンピュータを利用することで、小規模図書館でも大規模図書館と同じサービスを提供することができると述べていて、とても心強く感じました。データベースやインターネットは、実際本学の図書館でも、参考業務においてなくてはならないものとなっています。しかし、それだけですべての質問が解決できる訳ではありません。講義では、古い情報と新しい情報を両方探さなければならぬので、印刷体とデータベースをうまく使い分けることが必要だと述べていました。そのためには、参考書誌の勉強だけでなく、これからはデータベースやホームページの研究が必要だと感じました。講義の中で、たくさん参考書誌やホームページを紹介していただいたので、とても参考になりました。

「日本文学」の講義で、自分の図書館の書誌作成をすすめていました。日頃、突然質問に来た学生に満足がいなく答えを出せないことも少なくありません。質問を待つレファレンス記録を書き溜めるだけではなく、質問が来る前に図書リストなどを作る必要性を感じました。

演習においては、沢山の参考書誌に実際に手を触れ、またベテランの図書館員の方々と沢山お話が出来、多くのことを学ばせていただきました。

最後になりましたが、準備をしていただいた役員の皆様、講師の先生方、本当にありがとうございました。

(嘉悦女子短期大学図書館)

事務局報告

*会勢 1999.01.23現在

北海道地区	20
東北地区	23
関東・甲信越地区	103
東海・北陸地区	44
近畿地区	76
中・四国地区	30
九州地区	37
合計	333館

*会議

本部役員会 平成10年度

臨時 本部役員会

期日：平成10年09月25日（金）午後4：30～

場所：文化女子大学

議題 1 全国研修会開催の件
2 その他

第4回

期日：平成10年10月28日（水）午後2：00～

場所：跡見学園女子短期大学図書館

議題 報告事項

1 会務報告

会勢 333館（平成10年10月27日現在）

脱会 東北地区

宮城誠真短期大学図書館

東海北陸地区

中部大学付属三浦記念図書館

2 その他

日本図書館協会移転

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14

TEL03-3523-0811 fax03-3523-0841

協議事項

1 全国研修会の開催について

参加人数・役割分担・書誌の調整その他

2 「短期大学図書館研究」第19号の編集・発行について 特集テーマ「図書館協力とネットワークの展開」等

3 臨時全国理事会「会長及び本部役員」の選出方

法について」の結果を受けて、今後の進め方

・関東甲信越地区協議会の動く

・本部役員引継ぎ資料作成の件

4 その他

第5回

日時 平成11年1月23日～24日

場所 女夫淵温泉ホテル

議題 報告事項

1 会務報告

2 日本図書館協会関係

3 その他

協議事項

1 本部業務の関東甲信越地区への移管について

1 現在までの状況

2 これからの進め方

3 その他関連事項

2 平成11年度事業計画

1 「短期大学図書館研究」第19号の件

2 会報44合発行の件

3 理事会・総会の日程

3 その他

第6回 平成11年3月10日予定

<研修担当>

平成11年度全国研修会は近畿地区で開催 詳細は未定、
問い合わせは近畿地区会長館に連絡してください。

<短期大学図書館研究編集担当>

紀要20号から投稿先が下記のところに変わります。

住所 920-1392 金沢市末町10

金沢学院短期大学図書館 上木恵子

TEL：076-229-8877,8878 FAX：076-229-1426

<会報編集担当>

次号より会報編集・発行業務が九州地区になります。
詳細は次号で報告。

地区活動報告

〈北海道地区〉

1. 1998年度研修会

日時：平成10年8月28～29日

会場：北海道武蔵女子短期大学

概要

「やってみよう指導サービス～情報インストラクターをめざして」というスローガンを掲げ二日間にわたり実施した。大きく第一部「公開講義」と第二部「指導サービス研修」にわけたが第一部は文字通り大学、専門、高専、学校等関係団体に案内し公開した。

講義は講師に日図協利用教育委員の丸本郁子氏（大阪女学院短大教授）をお招きし「求められるインストラクション・サービス～図書館員は教育・学習のパートナー～」と題して行われた。参加者35名。

「指導サービス研修」は演習、ディスカッション、デモンストレーションを取り入れ受講者参加型の研修にした。講師には丸本氏の他、尾田真知子氏（日図協利用教育委員、北陸学院短大ヘッセル記念図書館）をお願いした。参加者30名。以下「Act1」から「Act4」にその内容を示す。なお参加者には事前に「指導案」提出が義務づけられた。

【Act1】パソコン利用のツール紹介

①学生が自分で使える教材「図書館の見知るべ」CD-ROM版を実際に使用。新入生オリエンテーションや利用指導にどう活用していけるか検討した。

②基本的な文献探索ツールの一つである「雑誌記事索引」（CD-ROM版）と使いキーワードの選定や検索式など指導の実際を研修した。

【Act2】インストラクション・プランニング

（グループ学習）各自が研修会までに作成した自館用の指導サービス案を持ちより効果的な指導サービス法についてグループ毎にアイデアを交換した。

【Act3】やってみよう仮想インストラクション

（デモンストレーション）

自分が作成した「指導サービス案」の一部を一人8分でデモンストレーションした。材料が適当か、興味深いか、あきないで聞けるかなど13項目について全員から評価を受けた。

【Act4】指導サービス・クリニック～200分間大作戦（グループ学習）

各館で実施しているサービスの問題点や改善必要項目を書き出しグループで改善方法を検討し処方箋を発表した。

2. 研究部会活動報告 「インターネットと利用者サービス」をテーマに学習してきた1年間の活動内容及び会計報告が地区研修会時に安藤友晴氏（稚内北星学園短期大学図書館）から報告された。

〈東北地区〉

平成10年度東北地区加盟館組織

理事館 盛岡大学短期大学部

幹事館 三島学園女子短期大学

監査館 青森明の星短期大学

羽陽学園短期大学

加盟館 23館

館員総数 94名

平成10年度地区活動報告

9月25日 全国理事会（臨時）委任状出席理事会議事録を加盟館に送付

10月28日 東北地区協議会総会・研修会開催

会場 盛岡大学会議室

参加者 13館 16名

総会議事

平成9年度活動報告 三島学園女子短期大学

平成9年度決算報告 三島学園女子短期大学

平成9年度監査報告 羽陽学園短期大学

平成10年度活動報告 盛岡大学短期大学

平成10年度予算 盛岡大学短期大学部

平成10年度全国理事会報告 盛岡大学短期大学部

平成11年度以降の脱退館について

研修会

講演 「図書館哲学を基調においた図書館の運営」

講師 盛岡大学文学部 助教授 中村克明

懇親会

11月15日 加盟館に総会議事録送付
 11月19・20日短期大学図書館全国研修会参加

(1)開 会
 会長挨拶：金沢学院短期大学図書館長
 柳澤良一

<関東甲信越地区>

1998年6月24日
 定期総会（目白学園研心館）
 第1回研修会講演「もり・きよし先生と短図協」
 聖徳大学短期大学部教授・短図協会長 安部壘巳氏

(2)事例報告
 「星陵女子短期大学の情報公開」
 木村将貴氏

1998年9月25日
 地区協議会会報（第26号）発行

(3)講 演
 「図書館業務の変貌 -インターネット
 による図書の発注・自館特有の資料提供
 について-」
 元杉野女子大学・短期大学部図書館課長
 松井将子氏

1998年12月7日
 幹事会（目白学園総合図書館）
 次年度幹事との打合せ
 本部・地区業務の説明

「インターネット入門講座」金沢学院大学教授
 中西一夫氏

(4)閉 会
 会長挨拶：金沢学院短期大学図書館長
 柳澤良一

1998年1月22日
 次年度幹事打合せ（目白学園総合図書館）
 次年度幹事の役割分担他

4. 平成10年度第4回幹事会

日 時：平成10年12月4日（金）12:00～14:40
 場 所：金沢学院短期大学
 出席者：8館14名 欠席1館
 議 題：(1)平成10年度研修会の反省について

- (2)平成10年度会報No.30の発行について
 (3)平成11年度総大会について
 (4)平成11年度研修会会場について
 (5)私立短期大学図書館協議会「短期大学図書館研究」の編集業務担当について
 (6)その他

<東海・北陸地区>

1. 平成10年度第3回幹事会

日 時：平成10年7月24日（金）13:00～15:00
 場 所：金沢学園短期大学
 出席者：9館14名
 議 題：(1)平成10年度総大会の反省について
 (2)平成10年度研修会の実施要項について
 (3)研修・会報委員会
 (4)その他

2. 平成10年度情報交換・研修会

日 時：平成10年10月8日（木）17:30～20:00
 会 場：KKR HOTEL KANAZAWA(研修会の前日開催)
 出席者 25館40名

3. 平成10年度研修会

日 時：平成10年10月9日（金）10:00～15:30
 場 所：金沢学園短期大学
 出席者：30館44名
 テーマ：変貌する図書館

<近畿地区>

[幹事会]

第3回 1998年9月8日（火）14:00～16:30
 第4回 1998年10月3日（土）13:00～17:00
 第2回研修会（見学会）下見打ち合わせ

[全国研修会準備委員会]

第1回1998年12月15日（火）14:00～17:00

[研修会]

第2回
 日 時：1998年7月15日（水）14:00～16:00

場 所：関西学院大学図書館

参加館：44館69名

テーマ：見学会…図書館は大学の中心に位置するとい
う意識が、館内から起こり維持継続・実践さ
れていることに感動し真の大学図書館として
の姿を見学した。

第3回

日 時：1998年11月10日（火）13:30～16:30

場 所：金蘭短期大学

参加館：42館50名

テーマ：前半…利用教育とレファレンスの各館事情
（アンケート）の点検
後半…業者による発注システムの説明とデモ

3. 研修会（第1日目）

日 時：平成10年7月30日（木）15:15～17:00

場 所：徳島市 徳島東急イン

当番館：四国大学短期大学部附属図書館

出席者：14館 23名

内 容：下記の承合事項について研修した。

ア. 図書館システム（コンピュータ）の導入
と使い勝手。さらに、学術情報センターと
接続しての図書館業務の現状について。

イ. 圖書の装備の現状について。

また、分類表は何の何版を使用している
のか、その分類表の変更の経緯について。

ウ. 研究用図書費の配分について各館の現状。

エ. 図書資料費の費目等について各館の現状。

<中国・四国地区>

1. 役員会

日 時：平成10年7月30日（木）11:00～12:00

場 所：徳島市 徳島東急イン

出席館：5館

議 題：新旧役員校の引継ぎと、総会提出議案他につ
いて審議した。

2. 総 会

日 時：平成10年7月30日（木）13:30～15:00

場 所：徳島市 徳島東急イン

当番館：四国大学短期大学部附属図書館

出席者：14館 23名

欠 席：16館より委任状受理

議 題：(1)審議事項

ア. 平成9年度事業・会計決算・会計監査報
告（承認）

イ. 平成10年度事業計画・予算案（承認）

ウ. 平成11年度総会・研修会開催について
本部役員の選出方法については、原案の
とおり承認。

(2)報告事項

ア. 私立短期大学図書館協議会理事会・総会
報告

4. 研修会（第2日目）

日 時：平成10年7月31日（金）9:00～11:40

場 所：四国大学

当番館：四国大学短期大学部附属図書館

出席者：13館 19名

内 容：実務研修

・四国大学情報処理教育センター見学

・附属図書館見学

・Web-OPAC

・オリエンテーション用ビデオ等

5. 機関誌『私短図中・四国協ニュース』第13号の発行

発行日：平成10年11月2日

担 当：四国大学短期大学部附属図書館

内 容：平成10年度総会・研修会の内容を特集

<九州地区>

1. 平成10年度幹事会開催

期 日：平成10年11月13日（金）

会 場：沖縄キリスト教短期大学会議室

出席者：6館 8名

議 題：(1)アンケート集計報告について

・地区ブロック分けに関するアンケート

・私立短期大学図書館協議会事務局業務分担に
関するアンケート

- (2) 臨時全国理事会(9/25)報告について
- (3) 規程改正案について
- (4) 平成11年度九州地区私立短期大学図書館協議会総会及び研修会の研究発表者推薦依頼について

2. 平成11年度総会・研修会について

期 日：平成11年4月22日（木）

場 所：はがくれ荘（佐賀県）

当番館：佐賀女子短期大学図書館

私立短期大学図書館協議会出版物

I 定期刊行物

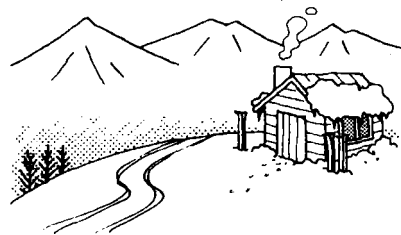
- 1 会報 創刊1977.12 年2回 発行 現在44号
- 2 「短期大学図書館研究」創刊1980.3.31 年1回 発行 現在18号

II 出版物

- 1 私立短期大学図書館総覧1979 1979.3.20発行
- 2 私立短期大学図書館総覧一集計・分析— 1980.10.31発行
- 3 私立短期大学図書館総覧1996 1996.11.1発行
- 4 私立短期大学図書館協議会加盟館員名簿 1984発行
- 5 私立短期大学図書館協議会加盟館員名簿 1986発行
- 6 私立短期大学図書館協議会20年小史—本部活動を中心に／同協議会 1997.5.16発行
- 7 図書館員になるには／菅原春雄編著 1982.5.1発行
- 8 図書館員になるには／一改訂版 菅原春雄編著 1984.7.1発行
- 9 資料組織化の実践／遠藤英三著 1983.3.30発行
- 10 日本十進分類法新訂7版—8版比較表／北九州司書の会編 1983.5.31発行
- 11 日本十進分類法新訂7—8版比較表—改訂版／北九州司書の会編 1986発行
- 12 言語学・英語学関係基本文献目録／東洋英和女学院短期大学図書館編 1987.3.31発行

III 地区発行

- 1 北海道地区逐次刊行物総合目録 1984年版 同協議会
- 2 関東甲信越地区私立短期大学図書館雑誌紀要総目録 1980 兼目恵子編 同協議会 1980.7.31
- 3 東海・北陸地区私立短期大学図書館雑誌目録1982 同協議会
- 4 近畿地区短期大学雑誌目録 1980.3月末現在 同協議会 1980.9.1
同補遺版 1981.7.5現在 同協議会
同協議会 1987
- 5 九州・沖縄地区私立短期大学図書館所蔵雑誌総合目録 1984.7.1現在 同協議会



編集後記

1999年を迎え、何かと変革の必要性が企業でも大学でも真剣に取り組んでいる現状。

当協議会も将来に向け、変革の時期と考え、組織の改編を図ろうと2～3年前から検討を重ね、第1ページにも記載の通り、平成11年度より役割分担による協議会運営体制で行くとの方針の基で、平成11年度から関東甲信越地区が本部となり、2年交替で他の地区へと持ち回り体制でいくことが、昨年9月の臨時全国理事会で決定した。本部役員体制（関東甲信越地区内会員校）は会発足当初から、この体制で実施してきた。館内事情にもかかわらず、会の振興と発展のため努力されてきた先輩役員、現役員の皆さんに感謝とお礼を申し上げる。これからそれぞれ事務引継ぎもなされ、次の新メンバーにバトンタッチするわけだが、発足当初の理念を今後とも継承し、さらなる発展を希望する。最後に菅原も創刊号から、直接20年数年、この会報の編集に取り組んできたが、これもひとえに、加盟館、本部役員・OB各位のご支援の賜とお礼と感謝を申し上げる次第である。

（菅原春雄）